



賀正





謹賀新年

計根別農業協同組合

信用事業担当理事	理事兼務参事	監事	監事	代表	理事	理事	理事	理事	理事	副組合長理事	代表理事組合長	
職	谷	佐	浮	須	影	北	石	本	柵	太	鹿	西
員	川	藤	中	崎	山	村	毛	田	木	田	野	塚
一	好	良	喜					芳	真		一	秀
同	則	文	佐	智	孝	篤	剛	明	夫	誠	博	夫



年頭ご挨拶

新年あけましておめでとう御座います。組合員の皆様は、ご家族共々に輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年を振り返りますと三月十一日の東日本大震災から九ヵ月以上を迎えましたが、復興への努力は日々続いており、また原発事故の収束も先が見えないままとなっております。その様な中で、十一月十一日に野田首相は、APECの場で「TPP交渉への参加に向けた関係国との協議」入りを表明したことは、全国はもとより、北海道農業において二兆円の影響が出ると試算されており、日本の民主主義はどうなっているのか大変憤りを感じております。今後は各国が我が国に求めるものについて、さらなる情報収集を強める事に努力すると同時に、何が国益なのか野田首相の言動に注視していかなければなら

りません。我々農業者は国民への安全で安心な農産物の供給に応えるために日々努力をして来ましたが、今後とも努力して行かなければなりません。その為にも、一部の経済成長優先論を理由に食料政策が犠牲になるTPP交渉参加の正式表明を断固阻止する為、国民運動の強化を更に関係団体と共に展開してまいります。一方、当地域を見ますと一昨年の猛暑の影響による分晩時期の遅延が原因とした生乳生産が停滞していましたが、昨年十月に入って回復の兆しが見え始め前年度対比一〇一%台となっております。牧草も春先の天候不順に心配はあったものの、六月からの好天に恵まれ一番草の生育も回復、収穫作業も順調に進み、質や量共に前年を上回り安堵した所です。

また、昨年は懸案でもありました、「地域活性化プロジェクト構想」のひとつでありますTMRセンターを建設し、十月には稼働となりました。併せて、育成センターにおいても、二百頭規模の施設を新設し、組合員の負託に応える事ができました。このことは、当農協が抱えている停滞する地域の農業生産と活力をどう復興するかを命題として位置付け組合員の経営意向調査をしたところ限界化している家族労働の補完、生産資材の低減、草地生産性の向上等が上げられたことから、これら課題克服に向けた効率生産を期すべく事業を展開したところであります。この事業が地域に活力が生まれ担い手の方々が夢を語れる「きっかけ」になってくれることを切に願うと共に第二・第三の地域内で取り組むTMRセンターのモデルとして先駆的役割

を果たしてまいりる所存であります。本年は、第九次の地域農業振興計画の初年度目の実行年となっており、昨年、組合員の皆様からアンケート調査に対する協力を得、組合員の皆様が農協に何を望んでいるかを真摯に受け止め、計画実践に向け誠意努力する所存であります。結びになりますが、農協運動は人と人との「絆」のうえに成り立っている組織活動であることはいままでもありません。協同と言う絆を大切に昨年の災いから転じて、素晴らしい福が訪れますよう祈念申し上げ、本年も旧来に増してのご支援、ご指導を賜りますことをお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



協同と言う絆を基に前進

代表理事組合長 西塚 秀夫



年頭ご挨拶



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔 章

組合員をはじめＪＡ役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十四年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申しあげます。

昨年の北海道農業は、春先には低温・日照不足等による成育の遅れが心配されましたが六月には天候が回復傾向に向かい、降雹被害や台風による被害などによって地域や作目による差はあるものの、組合員・ＪＡの努力が報われ総体的には平年に近い出来秋となりました。

さて、東日本大震災から九箇月以上が経過しましたが、復興への道筋は決して容易なものとはなっておらず、また原発事故の収束にも目途が立たず、全国の農業者や消費者は不安な日々を抱えています。ＪＡグループは、今後とも食料供給基地である被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、政府の指導のもとで安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」を大

切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。

また、環太平洋連携協定（ＴＰＰ）に関しＪＡグループ北海道は、与野党国会議員に対する要請を行い、昨年十一月四日に札幌市で「ともに考えよう『この国のかたち』ＴＰＰ交渉問題を考える道民集会」を開催しました。野田首相がＡＰＥＣに向けて「交渉参加に交渉参加に向けて関係各国との協議を開始し、各国が我が国に求めるものについて、さらなる情報収集に努め、十分な国民的な議論を経た上で、あくまで国益の視点にたつてＴＰＰについての結論を得る」との方針を表明したことは、議論が全く成熟していない段階での見切り発車の何ものでもなく、ＪＡグループ北海道として強く抗議しました。

この問題は、まさに「この国のかたち」のゆくえが憂慮される事態であり、組合員の営農と生活を守るためにも政府の暴走を断じて許すことはできません。

ん。お金を出せば食料を確保できる時代ではなく、経済成長と引き替えに国民生活の安全・安心を損なう国政はあつてはなりません。今後もＴＰＰ交渉参加の正式表明を断固阻止するため、国民的理解の醸成に向け北海道の総力を挙げて強力な運動を展開してまいります。

さて、本年は『協同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」』を主題に開催した第二十六回ＪＡ北海道大会決議事項の実践最終年を迎えます。大会決議事項の「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」は、国民の命の根源である食料生産を担う組合員が安心して農業経営に従事し、さらなるステツプアップを図り、食料自給率の向上に寄与し安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんに北海道農業を応援していただくための取り組みです。ＪＡ経営では「協同と信頼の絆で築く新時代のＪＡ」の実践によって、実践によって、経営の健全化と強靱な経営

基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するＪＡとなることをめざすものであります。また、国連は平成二十四年を国際協同組合年とすることを宣言しました。「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンのもと、協同組合の社会的役割・意義をアピールしていきましょう。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によっては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめＪＡ役職員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をよりどころにして、ＪＡへの結集を強め協同運動を協力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年も災害がなく、豊穡の出来秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の年となりますよう心から祈念申しあげ、新年にあたってのご挨拶といたします。



年頭ご挨拶

皆様方におかれましてはそれぞれの思いのなかにも健やかな新年を迎えられたことと拝察し、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

近年、グローバル社会、経済が進行する中で天変地異も含めて震撼させられる未曾有の事象があまりにも多く、今後どの様に対応すべきなのか（あつて欲しいのか）この機会に私なりに整理をしてみました。

未曾有の…その一

昨年三月十一日に発生した東日本大震災は多くの方々々が犠牲となり、更に被害状況も甚大でありその復旧・復興には多くの費用と時間を要することとなりました。更に人災ともいえる原発事故の誘発は、エネルギー政策の根幹をも揺るがしております。そのような中で、地震多発地帯の根室にあつて、その「備え」をどうするのかという課題ですが、酪農家にとつては、牛をダメにしないという観点から、「電気」と「水」の寸断に備えなければならぬ。集荷は



「未曾有の時代」の選択肢

参事 佐藤 良文

出来なくとも給水と搾乳だけでも対応しなければ牛がダメになる、生産態勢の堅持は不可欠。発電機と地下水等事前準備体制の構築について地域を挙げて検討する必要があると思います。

未曾有の…その二

近年続発している高病原性鳥インフルエンザについても然りでありますが、とりわけ酪農地帯にあつては一昨年発生した口蹄疫禍も教訓としなければならぬ。人、モノの流通がよりグローバル化した中にあつて海外での伝染病発生は、今や対岸の火事ではありません。隣国韓国では未だ清浄化されていないこともあり、昨年改正された「家畜伝染予防法」への対応として、少なくとも「水際対策」の「飼養衛生管理基準」については面倒でも関係者挙げての意識付けと励行が必要だと思えます。

未曾有の…その三

そもそもTPPに関して「農業」「対TPP」或いは「農業（一次産業）」「対工業（二次産業）」といった対立軸がクローズアッ

プされていましたが、本来は「国民の生活」「対TPP」若しくは「国民の安全・安心」「対TPP」であり、そのことが考えるべき『国益』であります。本当に恐ろしいのは農畜産物等を始めとする関税障壁以上に、未だ情報不透明な非関税障壁（関税以外の方法によって貿易を制限すること）の撤廃であります。医療や農薬の安全基準値の緩和による命の安全に対する脅威、労働市場の自由化等により安い農産物が入ってきてても労働市場が荒らされ失業率が増えては何の意味もありません。関税障壁、非関税障壁の撤廃は国境の撤廃に等しいこと。言わばアメリカ国日本県北海道市標津町…といったことが受け入れられますか！この選択肢は「ノー」しかありません。予てよりの持論ですが、輸出国は輸入国の食料の安定・安全供給を保障しているものではない。単に自国の余剰を輸出しているに過ぎず、輸出国にとって食料は自国の農業・国民の生活を守る重要な「戦略

物資」であり、よって国民に「食の安全・安心」を保障しなければならぬのは自国であります。TPP参加是非は、日本の歴史的未曾有の窮地に陥る分岐点であり、その判断に誤りがないよう反対運動を継続しなければならないし、同時に我々生産者も国民の「命の安全」に対する責任と義務を再認識することも今次の背景かと思えます。

本年は第九次中期地域農業振興計画（平成二十四年～平成二十六年度）の策定年であります。上述したような先行き不透明な部分は多くありますが、少しでも地域活性化が図れる構想樹立に向け他面に亘つて共に考えたいと思しますので宜しくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、今年こそは天候をはじめ取り巻く環境が穏やかな一年であつて欲しいと願いますとともに、組合員の皆様のご健勝で過ごされ一つでも喜びの多い年になることをご祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。



年頭ご挨拶



心の財から積みゆく日々

J A 計根別青年部 部長 中村 正博

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、旧年中より青年部の活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り、青年部を代表して心より感謝申し上げます。

昨年四月の総会において、青年部長の重任を拝し八カ月が過ぎました。就任のあいさつで申し上げた、「青年部活動は何のためにあるのか。」

そのことを考えながら活動して参りました。今、一応の結論として帰着したものは、ある言葉の中にありました。それは、「蔵の財（たから）より、身の財すぐれたり、身の財より心の財第一なり。」

ということですが。蔵の財とは、お金や物などの財産。身の財とは、学歴や身体能力、または身についた技能。そして、第一とされる心の財とは、友情や信頼、良き思い出などと言えます。つ

まりは、人は生きていくうえで、財産は生活に必要なものであることは当然ですが、そのみを追い求めていく人生では真の満足を得ることはできません。人生をいつそう輝かせていく心の財を積んでいく事ができるのが青年部活動であると思います。

今年度のこれまでの活動の中で印象深いものは、何と言っても十二月に開催された全道青年部大会の活動実績発表で最優秀賞を獲得出来たという事です。

四月、発表に合わせ、「実績発表部会」を立ち上げ、夏以降準備を進めてきました。七年間に渡る青年部のお歳暮事業について、一年一年、反省と修正を繰り返しながら、事業を盛り上げてきたという内容ですが、審査講評で評価された点は、「全員で取り組んでいること。」でありました。

昨年は念願であった千セツトの受注という大きな目標を達成

する事が出来ました。この目標達成の陰には、「お歳暮部会」の活躍があります。「お歳暮部会」は箱詰め作業までの約三週間、連日連夜、準備に奔走していました。その健闘を心から称えたいと思います。

計根別青年部の活動が全道で一番の評価を頂いたという事は何よりの喜びではありますが、これには、青年部のお歳暮事業を理解し、協力してくださった組合員さんをはじめ多くの皆様のおかげと深く感謝致します。

緊張の続くＴＰＰ問題であります。先々の全道青年部大会の記念講演で、ソフトバンク株式会社人事部長兼社長室長補佐の青野史寛氏が言われていた「戦う相手をどこにするのか？」という言葉に考えさせられます。

反対のシユプレヒコールをあげるのも結構ですが、生産者として安心、安全な牛乳を生産し、経営の足場をしっかり固めていくことが第一に大切である

ということなのだと思います。そういった意味で、二十四年度の活動には、ステップアップ講座をはじめ様々な学習会を通し、経営の上でより実効力のある取り組みを展開していきます。

先ずは、一月十八、十九日に福島県で開催される東北・北海道地区 J A 青年部大会に万全の態勢で臨み、北海道代表の誇りを胸に、堂々と発表して参ります。そして、活動にあつては盟友一人ひとりに光を当て、青年部活動を通して心の財を積んでいけるよう三役一同、考えに考えて事業推進していきます。

結びになりますが、本年も青年部に対しまして、ご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。



年頭ご挨拶

昨年を振り返ってみますと、三月には東日本大震災があり、多大なる被害を受け、テレビ・新聞などの連日によるニュースを見て、心を痛めた方も多かったのではないのでしょうか。

十一月に入りT P P交渉参加の表明があり、私たち酪農家にとって今後の営農・生活などへ

深刻な影響を与えることであり、不安は計り知れないものがあります。

一方、明るいニュースとしては女子サッカーのワールドカップで、『なでしこジャパン』が優勝し、女性の活躍が多かった年でもあったのではないのでしょうか。

女性部活動においては、女性ならではの趣味を生かした活動や仲間を作り、未加入部員の勧誘を積極的に取り組んでまいりました。

五月に行われた視察研修旅行では、函館・松前方面へ行き、一足早い桜を見てまいりました。

七月下旬には、網走へさくらんぼ狩りに行きました。夏休み中という事もあり、親子で参加

十二月には女性部の一大イベントであり、部員同士の交流の場でもある『レディースフェスタ』が行われました。各支部の作った美味しい料理や、デザートを試食した後ゲームなどを楽しみ、普段なかなか会えない部員同士の交流を深め、楽しい一日を過ごしました。

年度末に向けて、三層活動に加え、学習会なども行いながら、女性ならではの視点で、活動していききたいと思います。

最後に、本年も皆様にとって、事故や病気が無く、健やかで稔りの多き一年となります事を、お祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



二十三年を振り返って

J A計根別女性部 部長 渡辺 広美

新年明けましておめでとうございます。

組合の皆様におかれましては、本年も輝かしい新年を家族の皆様とお迎えのことと存じます。

役員改選から早いもので九月が経過いたしました。三役をはじめとする部員皆様のお力添えにより、計画しておりました事業も順調に進めることが出来ました。

する部員もおり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

そんな中、消費者拡大運動でも力の入れている、お中元ギフトの取りまとめも行い、今年度は『アイスクリームセット』と、女性部推薦品として『牛乳で簡単に作れるデザートセット』を作りました。その中にアンケートはがきを入れたところ、道内はもちろんのこと、道外からも激励の言葉を頂き、大変嬉しく思いました。

また地区交流会の場でもある新そば祭りでは、青葉会が参加しそば粉を使った『そば粉クレープ』を提供いたしました。来場者の方には「すごく美味しい!」との声を頂き、部員一同嬉しさと同時に、やりがいを感じました。

十二月には女性部の一大イベ

最後に、本年も皆様にとって、事故や病気が無く、健やかで稔りの多き一年となります事を、お祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭ご挨拶



年頭のご挨拶

根室農業改良普及センター北根室支所 支所長 並川 幹 広

謹んで新年のお喜びを申し上げます。組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族の皆様と伴に迎えられたことと存じ上げます。

さて、昨年を振り返りますと、三月十一日に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所による放射能飛散による汚染があり、未だに復興の途上にあります。この未曾有の大災害は、我々日本人の物事の価値観までも考えさせられる非常に大きな出来事でした。いまだ収束の道筋が見えて来ない中ではありますが、一刻も早い復興を願うばかりです。

一方、農業に目を向けますと、十一月には環太平洋経済連携協定（TPP）の交渉参加に向けて「関係国との協議に入る」ことが表明されました。TPPへの参加は北海道農業への影響が計り知れないものと思われ、当然反対の態度を今後も継続することになります。しかし、経済・

社会のグローバル化が一層進んでいく中、我が国経済は世界経済の動向と密接不可分なものとなっています。農業においても自由経済の下、グローバル化の波が押し寄せ続けているのだと再認識せざる得ません。TPP参加に対して反対の立場である

ことに代わりありませんが、一方では十年先を見据えこれからの農業のありようを考え、具体的方策を講じていくことも必要不可欠になったのではないかと考えるところです。この先の農業と農業を取り巻く環境については不透明なことばかりですが、今一度、関係する機関が結束し今後の地域農業のありようについて、熟慮し、ビジョンを掲げ、グランドデザインを描き、これにそって邁進することが一層大切になると考えます。

普及センターも微力になりますが、地域関係機関の皆様と手を携えて、これからの地域農業

のありようを念頭におき活動するとともに、今後の地域農業の発展のために少しでもお役に立てるよう職員一同決意するところです。結びになりますが、日頃から熱心な営農活動に対して

のご努力に敬意を表し、本年も皆様方がご健勝で稔り多い一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



(社)全国酪農協会主催

平成23年度ロイヤルウィンターフェア視察と 米国・カナダ酪農視察研修報告記

理事 本田 芳明 青年部 影山 洋平 購買部 中野 庶

はじめに、この視察に参加する機会を与えて頂きました組合をはじめ、役職員の方々、日頃お世話になっております組合員の皆様に書面をお借りして、お礼申しあげます。

◆十一月九日(水)

成田空港のロビーに集合し、間もなく当初乗る成田からシカゴへ向かう便が二時間遅れとの事で、成田からサンフランシスコ行に便が変わり、結団式もなく、あわただしく出発しました。

十二時間ほどのフライトで米国サンフランシスコ空港到着後、三〜四時間待ち時間がありました。何とかカナダ・トロント空港へ向かう便に乗り無事到着。その後、バスで移動。ナイアガラのホテルに着いたのが、夜の十二時半頃でしたZZZ...

◆十一月十日(木)

この日は、朝九時ホテルを出発し、世界三大瀑布の一つであり、アメリカ・カナダにまたがるナイアガラの滝を見学。ガイドさんの話によると、あまりの水量のため、一年間に一メートル浸食するため、ダムを作り水量調節し、アメリカ滝の方へ水を送っているとか。確かにすごい迫力でした。

ナイアガラの滝は米英戦争の歴史、豊富な水量により水力発電の活用、自然景観の保護と開発に大別されます。

滝の視察後、ナイアガラ周辺



CRタワー 床ガラス
本田理事ちびつてます



CRタワー 2人で



CRタワー



ナイアガラの滝をバックに



花時計



スカイロンから見たナイアガラの滝



市内スーパー



カナダ・トロント 州の議事堂

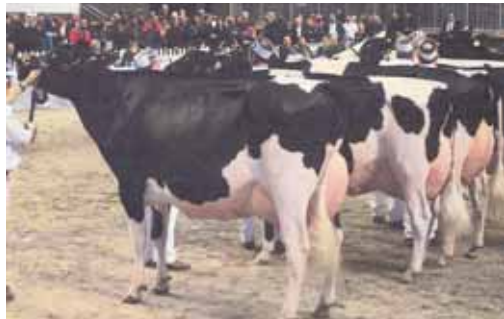
の水力発電所の側を通り、花時計を見学し街に戻り、大橋巨泉の経営するお土産屋に立ち寄り、その後スカイロン(展望レストラン)にて景色を楽しみながら昼食をとりました。

昼食後、バスにて一時間半かけてトロント市内に入り、CRタワーの展望台へ上がり景色を満喫し、州の議事堂、モントリ

オール大学のキャンパスをバスで回り、市内スーパリーに立ち寄ってからホテルへ。



ロイヤルウィンターフェア チャンピオン選抜



グランドチャンピオン牛

◆十一月十一日（金）
この日は朝からツアーの目玉である、ロイヤルウィンターフェア視察でした。
世界最大の酪農業博覧会。北米全域から集められた、さまざまな農産物の展示、品評会、競売が行われ、毎年恒例の人気ホースショウや様々な動物達のイベントが行われていました。また視察日は、夕方からホルスタイングランドチャンピオンパレードが開催されました。その中でグランドチャンピオンは、五歳一位のEASTSIDE LEWISDALE GOLD MISSYが輝いた。このチャンピオンの決定の瞬間、会場は興奮に包まれていました。

※ストールの牛床に敷料として砂を使用しており、肢蹄への負担を軽減してストレスを解消した



コーンの実を粉砕



粉砕した実をバンガーサイロへ



フリーストール牛舎

サミットホルム牧場▶

◆十一月十二日（土）
オンタリオ地区の優良酪農家サミットホルム牧場視察
この日は朝より、オンタリオ地区の優良酪農家サミットホルム牧場を視察しました。
※一九三九年にチェコスロバキアより移民し、一九四七年に酪農を開始。
※能力・体型の両方を追求した経営は成功しないとの考えから、能力指向型（①能力②長命性）で経営している。
※飼養頭数は総頭数七〇〇頭、搾乳頭数三五〇頭。
※飼養形態は、五群のフリーストールで搾乳形態は十六頭ダブルのミルクパーラー。
※収入の九十五％が生乳で残り五％が個体販売（廃用牛・ヌレ仔）であり、乳価は一キロ七十円で一年間を通して変動しない。



大型農場視察後、ヒザが痛い本田理事

事が乳房炎の大幅な減少につながり、乳質も向上している。
※牛群能力一二、八〇〇kgと高能力を誇り、二〇〇二年にマスタブリーダー（その年に最も酪農界に貢献した酪農家であることの称号）に推奨されている。





克蘭ストン牧場



フリーバーン



牛舎内



トロント・ルネッサンスホテル前 4人で
本田理事 禁煙ですよ



ゴールデンゲートブリッジ



左からジェリー・中野と愉快的仲間たち



サンフランシスコ展望台

サミットホルム牧場視察後、バスで移動、次は克蘭ストン牧場（小規模農場）の視察でした。この牧場は親子三人で経営しており、総頭数は八十五〜百頭。二〇〇八年に牛舎を新築、夏は涼しく、冬はあたたかい構造になっており横カベがセンサーで開閉するようになっておりました。牛床はオガクズ＋セツコウボードで下は六十℃の熱があり牛の足にも負担がかからない様になっているそうです。クラストン牧場を後にし、こ

サンフランシスコに。

◆十一月十三日（日）

この日は朝四時に起き、五時ロビー集合、バスでトロント空港へ。七時三十分出発デンバーに着き、本田理事の腕時計は十一時頃になっていました。確かに四時間近くは飛行機に乗っていたのに二時間時間をもどして下さいと添乗員さんに言われ、デンバー着は九時半頃になりました。デンバーからサンフランシスコに出発、ここでも一時間もどして下さいと言われただけ時差があるのかと驚きました。

その後空港を出てバスでサンフランシスコ市内の視察、市内を一望できる展望台を視察後ゴールデンゲートブリッジの視察、この日は昭和元年に設計し、昭和十四年に完成しております。また湾内には人気観光スポットのアルカトラズ島（脱獄不可能の監獄島・アルカトラズ連邦刑務所跡地）も見ることができました。又、日曜日というところで海には沢山のヨットが出ていました。

◆十一月十四日（月）

この日は視察最終日、カリフォルニア州にある世界最大のチーズ工場ヒルマールの視察。従業員七六〇人、出荷二三〇農家からの牛乳を加工、直営店でチーズ等の販売も行っている。世界中の科学者がホエイの研究を行っている。工場の排水のリサイクル化など環境への取り組みも行っている。バスに乗りながら



チーズ工場



とろけるチーズとポッキー発見!!



ロータリーパーラー



マルシグナ牧場

の工場施設を視察しました。

次の視察先はチーズを始めた十一件の内一件で大型農場のマルシグナ牧場でした。在住七十五年、

ジャージー種二、〇〇〇頭、三、〇〇〇エーカーの土地を持ち牛舎一棟に六〇〇頭づつ入っており、搾乳施設は五十頭入るロータリー式パーラーで一時間に三六〇頭搾ることができ、すべてコンピュータで管理。その他テキサスにも六件の農家と三、六〇〇頭の牛を飼っているそうです。

（米酪農事情について講演の拝聴）

宿泊先のホテルに戻り全酪連

サンフランシスコ事務所の生野昌宏氏より北米産乾牧草市場の変化、中東・中国向け需要の急激な増加、米国の酪農の現状・米国の酪農事情等の説明を受けました。

◆十一月十五日（火）

視察最終日は、ホテルからサンフランシスコ市内をバスから眺めながら空港へ移動し成田空港へ向け出発。通関を終え十一月十六日無事に帰国となりました。

最後に、今回の海外視察に参加させて頂き日本・アメリカ・カナダの酪農経営や考え方の違いを学ぶことが出来た事、異国の文化と触れ合う事など大変感謝しております。ありがとうございました

資材生活課 中野 庶



本 田 拓 哉さん
望 さん

12月10日(土) 挙式・披露宴



養老牛地区の本田信幸さんの三男 拓哉さんと羅臼町出身の望さんが十二月十日トーヨーグランドホテルにて挙式・披露宴を行いました。優しく明るい拓哉さんと可愛い望さん、幸せな家庭を築き本田牧場を更に大きくして欲しいと思います。

計根別農協青年部

活動実績発表大会最優秀賞！ 東北・北海道大会へ！！

第六十回全道JA青年部大会&道青協創立六十周年記念式典

◆開催日時◆

平成二十三年十二月七日(水)・八日(木)

◆開催場所◆札幌パークホテル

◆大会日程◆

【十二月七日(水)～第一日目～】

開会式

青年の主張発表大会

活動実績発表大会 ※当青年部発表

特別講演 講師…遠藤 友彦 氏

(全国農協青年組織協議会 副会長)

『東日本大震災における復興支援活動』

六十周年記念式典

六十周年記念祝賀会

・アームレスリング大会

・青年の歌『君と』カラオケ大会

【十二月八日(木)～第二日目～】

記念講演 講師…青野 史寛 氏

(ソフトバンク株式会社)

人事部長兼社長室 室長補佐)

一分間パフォーマンズ ※安斉悟君参加

本大会

閉会式

根室地区初！

全道大会最優秀賞！！



活動実績発表大会

『moving it!』

男たちの箱詰め物語

発表者／中村 正博

発表補佐

(スライド操作)／末廣 卓実

発表、スライド、部員の想い全てが合わさり六十周年の記念すべき大会で勝ち取りました。

応援していただいたすべての皆様ありがとうございます。



今年も広報部会では壁新聞を作成し、計根別をアピールしてきました！



広報部会 後藤 順

南部地区



酪進
二瓶 高義さん

健康で過ごしたい！



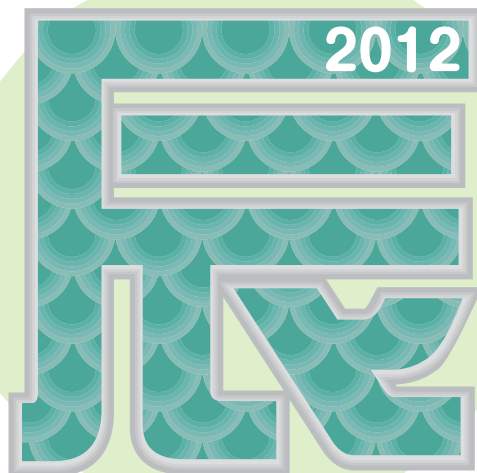
酪進
穴戸 栄子さん

健康に気をつけて頑張ります！



常盤
佐藤 知子さん
(娘のあゆ奈ちゃん)

家族が健康でいられますように！！



組合員さんと職員のご家族の年男・年女の方に
今年の抱負などを語っていただきました

元気で稼ぎます！！



北本別
信夫 扶美子さん 信夫 重勝さん

家内安全



大成
水沼 和子さん

健康で1年頑張ります！



中本別
北村 正さん

一日一日を大切に・・・！



酪進
斉藤 祐太さん
(斉藤 剛士さん)

楽しく過ごしたい・・・



中本別
中村 璃菜さん
(中村 勝彦さん)

中学校へ行ったら部活を頑張りたい



共進
吉田 富男さん 吉田 和子さん

一年健康で・・・！！



中本別
中垣 文枝さん

病気をせずに元気で・・・！！



大麻
綴綴 和子さん

ずっと健康で・・・



酪進
穴戸 浩一さん

まだまだいけるぜベイッ！！



大麻
斉藤喜佐子さん

健康体操で仕事を頑張ります



宮農部 宮農振興課
熊谷 昌仙さん

酒と温泉を愛する男、熊合です。



購買部 燃料部品課
片岡 尚子さん

皆さんスタンドで待つてま〜す♡



宮農部 企画課
大矢根裕辞さん

壊れかけのYU-JO♪・・・



購買部 燃料部品課
中島 昇さん

今年も愛なおじさんで・・・



販売部 酪農課
田村 慎吾さん

タムシンどうえす 種牛になりたい



購買部
松岡 幸樹さん

健康のために沢山お酒を飲みます??



共進
小西 恵美さん
(娘の亜莉沙ちゃん)

家族皆、元気で暮らせますように



常盤
小林 由美さん

家族も牛も健康で過ごせれば・・・

西部地区



旭新養老牛
佐藤 広光さん

今年も全道共進会に出るぞ!!



南養老牛
武田 州司さん

まだまだ頑張るぞ!!



南養老牛
本田 竜輝さん
(本田 勉さん)

計根小に行ったら友達と仲良くなって遊びたい



南養老牛
影山 颯さん
(影山 智さん)

友達を作って1年楽しく過ごせたらいいな



西上標津
和泉 康太さん
(和泉 光広さん)

漢字検定を頑張りたい



旭新養老牛
中村 正子さん

人も牛も健康が1番



上標津
木村 郁美さん
(木村 智さん)

習字で4段を目指します



上標津
久保 伸一さん

君の瞳にカンバイ?



旭新養老牛
太田 誠さん

TPPには負けません!!!



東養老牛
株田 昭夫さん

牛乳生産一筋!!!



東養老牛
井野 紅恵さん

旦那様より若く見られるように、マイナス5歳肌目指します!!!



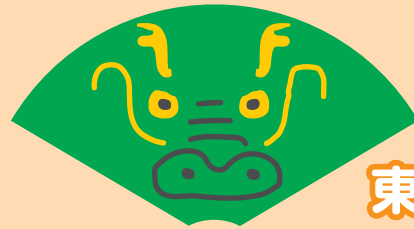
旭新養老牛
山下 博さん

めいわくをかけず命ある限り頑張ります



上標津
岡田 裕司さん

売れない落語家ではございません?



東部地区



西竹
杉本 公也さん

いつまでも健康で100歳越え狙います!



新栄
柵木真喜夫さん

マキ・マキ・マッキーどうえ〜す!!



西計根別
須永 昌和さん

半農半漁の須永です!期待していて下さい。



西計根別
漆原 俊之さん 漆原 弘子さん 漆原 陸さん

3人も辰年がいるので何か良いことが...



若竹
須藤 イシさん

まだまだ健康で...95歳



中計根別
飯島 智子さん

頑張ります



若竹
蓮見 早苗さん 蓮見 成尋さん

あつこ3年はタツ年です?健康第一で



中計根別
葛西 昭子さん

ファイター2発!!



西計根別
本田 芳明さん

今年も本田節が炸裂・ヤロ〜!!



東西竹
尾崎 幸朗さん

とにかく頑張ります!!!



若竹
長谷川正幸さん

健康1番...



東西竹
松村 義彰さん

良い年でありますように...



東西竹
一木 義春さん

3回目の成人式です!!



新栄
波田野 萌さん
(波田野 満さん)

勉強を頑張ります



東西竹
小館 美紀さん

前回からもう12年が経ちました。

女性部 レディースフェスタ



各支部料理の紹介



美味しくて笑顔になっちゃう



この絵何かわかるかしら～??



食べ物は早い者勝ちよ～～



お互い子供を抱いての真剣勝負!!



おり紙ゲームで1位になっちゃた～



一発千金ゲームで50円いっぱい！
笑顔になっちゃいます。



上標津支部の餃子
皮がもちもちして美味しかった～



西竹支部の酢豚 人気でした!!



豚汁いっぱい入れちゃおうかな～

十二月七日、女性部の一大イベントである「レディースフェスタ」が中標津町交流センターにて部員五十六名が参加し、毎年各支部が手作りで料理を持ちより、料理の紹介やゲームを行いました。

今年の各支部のメニューは、計根別支部「豚汁」、上標津支部「餃子」、西竹「酢豚」、養老牛「おでん」、大成「ゴマ・かぼちゃプリン」「豆腐団子」、本別「スイートポテト」「二色ゼリー」、緑会「インゲンとストリングチーズの胡麻和え」「ストリングチーズ生春巻き」どれもとても美味しそうな料理がテーブルいっぱい並びました。

お腹いっぱい食べ会話を楽しんだ後は、「折り紙ゲーム（団体戦）」と毎年行ってる「一発千金」・「キャッチフーリング（チームで一人が絵を書いて当てるゲーム）」を行い今年も楽しく盛り上がりました。

緑会 別海町「加賀家文書館」視察・押し花ハガキ作り

十一月九日、緑会七名で別海町にある「加賀家文書館」と「郷土資料館」へ視察に行きました。

加賀家文書館は、平成十年に加賀家七代目にあたる實留男氏から、江戸時代末期に当町の野付半島などで活躍した加賀家一族が残した「加賀家文書」と呼ばれる古文書史料など約千点と、加賀家が見た幕末の別海の様子を年表で見てきました。

郷土資料館では、別海の自然・先史、開拓の歴史を八つのテーマにまとめられたモニュメントを見てきました。

視察後はレストランはまなすで『別海じゃんぽホタテバーガー』を食べて帰ってきました。

《事務局 岩本》



寒いから早く撮っちゃって～



話しをするとお花が飛んじゃうわよ!!



▲田中さん真剣に書いてます
達筆です!!



▲素敵なハガキが出来上がりました

十一月二十一日、農協二階にて緑会四名は昨年、中央会の萩原さんに押し花の押し方を教えて頂き、自分たちで作った押し花でハガキ作りを行いました。

ハガキの上に押し花を置いてデザインしスプレーのりを掛け、和紙を貼る作業が難しかったですが、いろいろな花や野菜を使って楽しく作業を行っていました。

一人十～十五枚ほど作ったので少し時間は掛かりましたが、素敵なハガキが出来ました。

《事務局 岩本》

個体管理の決め手「牛名板」！

根室農業改良普及センター

北根室支所

普及センター通信

☎72-2163



写真①



写真②

1 牛名板を見直そう

「そんなもん知ってるよ」と言われそうですが、牛名板を有効に活用している2農場の事例を紹介します。

写真の牛名板は、どちらの農場も書かれた情報を共有して、繁殖成績の向上や、治療牛についての共通認識を持つのにたいへん役立っているものです。

写真①は白色のプラスチックパネルを切ったもので、大きくて見やすいのが特徴です。サイズは縦30cm×横45cm。

記入する情報は、個体番号、

2 やるための理由

授精日、分娩日、子牛の♂♀、受胎の有無、難産等、そして乳房炎や治療について記入し、ガムテープを貼ると次々に記入できるようにになっています。

写真②は市販のもので価格は約600円でサイズは縦18cm×横23cm。写真①と同じく個体番号と分娩月日、授精月日をすべて記入しています。少し小さくて見づらいますがパイプにすぐに取り付け可能です。

個体管理に必要な情報（分娩月日、発情、最新授精月日、受胎の有無、乳房炎、その他治療、廃用予定や乾乳等）を、すべて牛名板に記入出来ます。

これにより、家族だけでなく人工授精師や獣医師等関係者にとっても一目でその牛の情報が把握できるので非常に便利です。

書き込むプレートは百円均一ショップやホームセンターでも入手可能な材料から手作りすることも出来ます。

データを自分以外の人にも伝える手段として、牛名板はとても優れていると言えます。今一度利用を考えてはいかがでしょうか。

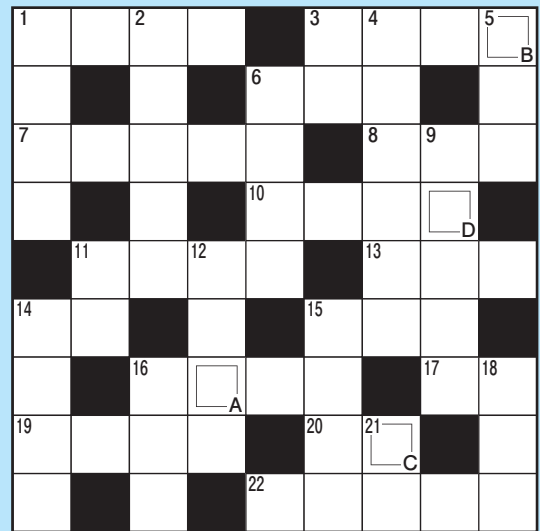
【タテのカギ】

- 1 初心者。幸運の女神も微笑みます
- 2 ウナギと梅干し、相性が悪い
- 3 卵の外側部分
- 4 反応が遅いところと呼ばれます
- 5 亀が背負っているのは？
- 6 ドラえもんの大好物
- 9 官僚が民間企業に入ること
- 11 前もってわかると地震もこわくありません
- 12 夜道を明るく照らします
- 14 ベートーベン第五交響曲 八短調
- 15 月で兎は何してる？
- 16 残業続きでクタクタ…
- 18 バカ力をここでは発揮します
- 21 ぴょんぴょん跳ねる吸血鬼

【ヨコのカギ】

- 1 北極圏の暗くならない日々
- 3 よーいどん。だれが一番はやいかな
- 6 辛口ビールの呼び方
- 7 アメリカにある巨大な滝
- 8 ユーカリの葉が好物
- 10 火災が起こると集まる動物？
- 11 別れの時、一枚の紙にみんなの思いが
- 13 これがあれば求職活動も有利？
- 14 福の神にいてほしい場所
- 15 プロ野球では3本以上がヒットを打つとこの賞がもらえます
- 16 食べやすい大きさ
- 17 国語、算数、社会とこれが小学校の主要科目
- 19 飲食店に求められる会計
- 20 赤鬼、青鬼、頭には？
- 22 まるく卵が浮かんだ麺類

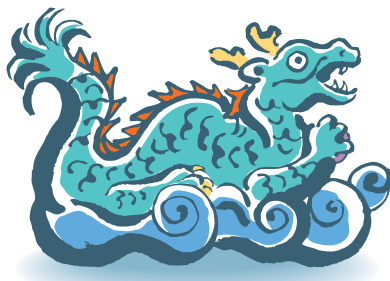
クロスワードパズル



●正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、組織広報係までFAX（78-2556）お願いします。

《締め切り》平成24年1月20日まで
12月号、1月号の当選者の発表は広報「けねべつ」2月号誌上



きりとり線

クロスワードパズル

住 所 _____

氏 名 _____

T E L _____

答え

A

B

C

D

ご意見をお寄せ下さい。(季節の便りなど何でもけっこうです)

きりとり線

12月号抽選の延期について

いつもJ A けねべつ 広報をご覧いただき誠にありがとうございます。

また、クロスワードパズルにも積極的に参加していただき重ねてお礼申し上げます。

さて、この度の、十二月号、一月号につきましては都合により発行期間が短くなった為、両号の抽選を誠に勝手とは存じますが一月二十日とさせていただきます。

これからもクロスワードパズルのご参加をお願いすると共に、皆様の近況や広報に対するご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

営農部 営農企画課 大矢根裕辞

2011 COW OF THE YEAR

計根別農協乳牛改良連合会の年度収め最後の事業が、12月20日中標津マルエー温泉にて、来賓を含む43名の参加で、本年度も改良について牛の話を肴に、盛大に開催されました。

例年開催されている『COW OF THE YEAR』ですが、今年活躍された未経産2頭・経産牛4頭をノミネートしてそれぞれコメントと写真を添えて、会場内で投票が行われ結果は以下の通りとなりました。

また、併せて乳牛改良と乳改連の歴史に係るクイズを同志会対抗で行ない会員内での交流が図られました。

【2011 COW OF THE YEAR ノミネート 経産の部 No. 1】



名号 ノーズヒル
ジャーナリスト ウイン ET
H19.03.28生
父 ブレイデール ゴールドウイン
母 ノーズヒル
ジャーナリスト ダーハム
所有者 佐藤 広光 氏

平成23年 主な賞歴

平成23年 根室ホルスタイン共進会
シニア リザーブチャンピオン 及び
第13部 1等1席
第15回 北海道総合畜産共進会
第13部(4歳クラス) 1等2席

【2011 COW OF THE YEAR ノミネート 未経産の部 No. 1】



名号 メモリー
ジャランチェ サンセット
H22.07.14生
父 ジェンマーク
ストーマテイツク サンチエス
母 メモリー
ジャランチェ ギブソン
所有者 北村 篤 氏

平成23年 主な賞歴

平成23年 別海町畜産総合共進会
ジュニア リザーブチャンピオン 及び
第2部 1等1席
第48回 計根別農協乳牛総合共進会
ジュニア グランドチャンピオン
平成23年 根室ホルスタイン共進会
第3部(ジュニアミドルクラス) 1等3席
第15回 北海道総合畜産共進会
第3部(ジュニアミドルクラス) 1等6席



編集／計根別農業協同組合 営農部 営農企画課
発行日／平成24年 1月 1日